



平成 25 年 9 月 30 日

かわら版あんず

第 4 9 号

発行責任者 福地 季子
〒317-0056 日立市白銀町 2-17-1
TEL. 0294-21-4150

2013 年度フレンドリーあんず 夏祭り

今年も 6 月 30 日、フレンドリーあんず恒例の夏祭に大人 97、子供 17 名が参加し日本人と外国人の流暢な日本語が飛び交う中、教室では見られないコミュニケーションと笑顔で楽しい一日を過ごすことが出来ました。快晴の中、ここ会瀬青少年の家は広大な海、砂浜を有し震災前は海水浴でにぎわいを見せ、施設はバーベキューなどの用具がそろっていて、海外姉妹都市の高校生来市などにも良く利用されている施設である。当日は静かな海鳴りと、ふるさと国を海のかなたに思い、夏祭りは、バーベキューに始まりました。フウフウ息をかけながら、目をこすり必死に煙をこらえ、炭おこし、食材はベテランのスタッフが、数日前から準備した赤、青、黄色と多彩な野菜、肉を包丁片手に、国は違ってもお互い自分流に刻み料理の仕込みです。みんないつの間にか自分なりにそれぞれの役割をつくり、協力し国際交流を楽しみ、おいしそうな、においのなか料理が出来上がりました。班別に食べ始めると国によっては、初めて口にするスイカやトウモロコシなど、あやしげに、おいしそうな表情で食べ デリシャス デリシャス、アッと言う間の完食です。後片付けのあと茨城キリスト大学生によるゲームを楽しみ更なる笑いと興奮、一人一人それぞれの思いの中、ふれあい真の交流が図られました。やはり最後は今年もスイカ割りでフィナーレです。日本人、外国人、子供もニコニコみんなの声援に応え、右に左にヨロヨロ歩き大変、棒を振り落としスイカが割れたとき「やったー」Vサインで大きな笑いと歓声がわき起こり終了を迎えました。

毎年の事ではあるが、夏祭りにはそれぞれの思い中 不安げの初めての人、家族や友達連れの人が参加し日本文化を体験しています。通常の海外の観光旅行では味わえないふれあい、体験を私たち「あんずスタッフ」は今後も企画、立案していき、日立にて過ごした日々を思い出してほしいと願っています。スタッフの皆さんありがとうございました。

大森 守



文化庁日本語教育大会

テーマ：地域日本語教育と住民の社会参加

ー地域における日本語教育の在り方を考えるー

この度は、上記への参加の機会をいただき、ありがとうございました。簡単に、内容と感想を報告させていただきます。

1. 基調講演 ーことばと文化についてー

文化庁長官 青柳 正規

年々、地域の文化を表現するにふさわしい言語がなくなっている。(アイヌ語、方言)方言は、文化の多様性を守るために必要。それぞれの地域が、その土地にふさわしい方法で文化を守り、文化の多様性を発信していくことが大切。

2. 施策説明

(1)帰国-外国人児童生徒等に対する文部科学省の施策について (文部科学省国際課課長補佐 河村 裕美)

*外国につながるのある児童生徒の学習を支援する情報検索サイト

「かすたねっと」…教材検索、文書検索ができる

(2)文化庁における日本語教育施策について

(文化庁国語科課長

岩佐 敬昭)

「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

教育実践プログラム(A)「標準的なカリキュラム案」の活用による取組

教育実践プログラム(B) 地域資源の活用・連携による総合的な取組

(※今年度 茨城県水戸市は (B))

3. 文化審議会国語科分科会日本語教育小委員会における審議状況の説明

(留学生日本語教育センター長

伊藤 祐郎)

4. 日本語教育事業 教育実践プログラム (A)(B)を活用した取組の報告

＜プログラム(A)＞を活用した取組

(社会福祉法人 さぼうとにじゅういち 矢崎 理恵)

ー外国人住民・日本人住民 共(とも)育ち日本語教室展開事業ー

「生活のための日本語」…動画教材作成の試み

市役所で

歯科医院で

ゴミの出し方など

情報検索 サイト 「社会福祉法人 さぼうと 21」

動画、教材バンクのページへ

＜プログラム(B)＞を活用した取組

(公益財団法人 札幌国際プラザ

杉本 彩)

ー多文化共生コミュニティ形成のための日本語教育事業ー

事業フレーム つながる

*対訳資料作成

ふれる

*外国人のための離乳食セミナー

知らせる

*避難所、配給の語の意味

*北区伝統芸能「藍染」の体験 など

5. パネルディスカッション

進行役

神吉 宇一

パネリスト

山崎 亮

、 山田 ロザリオ、

伊藤 美智子、

福田 淳司、

西川 寛之

①パネリストからの報告

②ディスカッションの内容から

・関係者を巻き込んでいく工夫 …イベントを通して面白さを感じさせる

・連携、情報の発信、情報の共有

ITによる情報収拾だけに頼らず、実際に会って話をすることが大事

・外国人が、地域にどう興味を持っているか

・支援のデザイン

日本語教室の活動をいろいろな場で見せ、周りの人に理解をしてもらう 公民館をもっと活用する

・「自立・支援」に対して どう考えるか

自立を前提とし、最終目標としない

自立できる「力」(ちから)を考えていく

＜感想＞

外国人に日本語を教えることはひとつの方法であって、そもそも難民支援に始まりがあること や、生活者としての外国人が感じる不便さ解決のための活動があること、帰国子女や外国人の児童生徒が抱える学習上の困難解決のために活動するボランティアがいることなどを知ると同時に、これらの幅広い活動には繋がりがあることがわかりました。言葉の壁のために私達の気づかぬところで不便を抱えている外国人がいることを思うと、私達の活動をもっと多くの人に知ってもらうため もっと自由に見学をしてもらえるようになるといいなと感じました。

庄司 寿枝

——茨城アジア教育基金を支える会の今——

ラオスの子供と東日本大震災支援チャリティペペコンサート開催

9月16日、小美玉市四季文化館に於いて、チャリティペペコンサートが開催されました。

18号大型台風襲来の情報の中で、キャンセルも少しありましたが、日立グループから役員中心にスタッフの応援もあり、出演者とも心の通うコンサートでした。チャリティも出来て本当に嬉しいことでした。

ラオス国の山岳地方に

就学前教室のある小学校建設の計画決まる

建設地はラオス国ルアンパバーン県ヴィエンカム郡サムス村。

10月に建設委員会を立ち上げ、現地の協力を得ながら、

2015年春（雨季は工事が出来ない）には完成の計画です。

“だれもが教育を受けられる世界”を目指して、その活動の実際に関われることは希有なことではないでしょうか。学校に行けなかった子供たちが毎年次々に学校に行けるようになるということなのです。一人一人は微力でも力を合わせて進んでいきたいと思います。



福地 季子

日立国際交流協議会企画部会の行事

今期は、主に外国の人を対象にし、さくらまつり見学会、絵手紙講習会、外国人のための防災訓練を実施、この後、本当のハロウィンを実施します。

1. さくら祭り見学会 4月13日（土）

さくら祭り見学会は、昨年、フレンドリーあんず単独の行事としておこないましたが、今年は、日立国際交流協議会の企画部会の行事となり、日立風流物のからくり人形の操作や山車(だし)の中の見学ができました。また、見学の前に、日立のまちの案内人の説明もありました。

2. 絵手紙 7月27日（土）

絵手紙は、先生の指導のもと、全員、富士山の絵を描いた後、それぞれが自分の旅行したところの風景などをイメージして自由に描いていました。最初、難しいそうに思っていた人たちも、終わりのころは、もっといろいろ描いてみたくなったようです。

3. 防災訓練 8月10日（土）

日立消防本部で日立消防本部員の震災、火災の対応等の説明を受けたあと、屋外で消火器を使った消化訓練と、起振車による地震体験を行いました。今まで知らなかった消火器の使い方を実際に経験できよかった。また、起振車は、みな大震災時並の震度を希望し、体験していました。

消防本部での防災訓練終了後、教育プラザの国際交流サロンで感想を聞かせてもらうためフレンドリーあんずで懇親会を持ちました。

参加者の中から、茨城大学、茨城キリスト教大学の留学生たちが参加してくれました。軽食をたべながら、感想を聞き、その後、ちょっとした防災グッズが当たる抽選会も行いました。

「大学等でも防災訓練は行うが、人数が多いが、今回は少人数なので消火器の体験、起振車の体験等、みんなが体験できたのがよかった。」「震度7の起振車は、怖かったが、おもしろかった。」東日本大震災を実際に体験した人もいて、そのときの話をしてくれました。



半田 善久

ネパールとは

北は世界最高峰の「エベレスト」で知られるヒマラヤ山脈、南はインドへ続くタライ平野に囲まれたネパールは、国土が 14.7 万km²（北海道の 1.8 倍）の小さな国だ。地理的にはインドと中国という大国に挟まれた内陸国で、国土の大半が山岳地帯となっている。ネパールの面積は小さいほうだが、その風景と文化に視点を置くと、信じられないくらい多様性に富んでいます。世界最高峰のエベレストを頂点として、7000m 級の山々が連なり、ブッタ生誕の地である「ルンビニ」などの世界遺産が複数存在している同国は、西欧諸国の VIP から、隠れた観光スポットとして古くから人気がある。ネパールの世界遺産は数は多くないが、自然遺産の国立公園と歴史遺産がバランス良く登録されている。トマンズの溪谷 Kathmandu Valley（文化遺産）、サガルマータ国立公園 Sagarmatha National Park（自然遺産）、ロイヤル・チトワン公園 Royal Chitwan National Park（自然遺産）、仏陀の生誕地ルンビニ Lumbini, the Birthplace of the Lord Buddha（文化遺産）がある。ネパールは“南アジアの給水塔”として積雪や降雨からの六千もの河川がある。ネパールには 30 以上もの自然によってつくられた洞窟があり、そのうちの数か所が陸路より訪れることができる。ネパールは多文化、多言語、多宗教の国家です。国民の 80% がヒンズー教徒ですが、根強い仏教の文化があり、ブッタの生誕の地ルンビニはタライ平原に位置する。首都はネパール最大の都市カトマンズ、公用語はネパール語また、通貨はネパール・ルピー (NRs) 使用する。

ネパールの国旗は世界でも唯一、四辺形ではない形だ。国旗の青い線はネパールの平和を意味し、赤は勝利、国民の強さを表し、また国花であるジャクナゲの色を表現している。中に書かれた月と太陽はネパールの人々の平和を表し、太陽はネパールの戦士を表している。

現在、日本からネパールに訪れる観光客は年間で 2 万人を超え、在日しているネパール人は 1 万 5 千人以上だ。日本との関係では、日本の国連常任理事国入りを支持するなど、非常に友好的な関係にある国だ。



あしあと



- * 総会
- ・フレンドリーあんず 5/19
- ・日立市ボランティアグループ連絡会 5/20
- ・日立国際交流協議会 5/24
- ・「茨城アジア教育基金」を支える会 5/26
- * ゴジャッペ市出店 4/29
- * E T 会（ネパール料理 6/21、お好み焼き 9/29）
- * フレンドリーあんず夏祭り 6/30
- * 茨城県国際交流ネットワーク会議に出席 7/4
- * 外国人の為の防災訓練協力とサロン実施 8/10
- * 文化庁日本語教育大会に出席 8/30
- * 茨城アジア：ラオスの子供と東日本大震災支援チャリティコンサート 9/16
- * 日立市ボランティアグループ連クリーンハイキング参加 9/28
- 他 日本語教室毎週 2 回、生け花クラブ、毎月 1 回 実施

お知らせと今後の予定 御参加ください

- ・日立市男女共同参画社会を進めるつどい（シビックセンター） 10/19
- ・女性センターまつり（女性センター） 10/26, 27
- ・国際交流サロン“本当のハロウィン” 10/27
- ・“茨城を食べよう収穫祭”に茨城アジア出店（笠間芸術の森公園） 11/2, 3
- ・ひたち国際文化祭り（シビックセンター） 11/16
国際屋台村、民族文化紹介【タイ、ラオス】、生け花展示、文化体験（花）
- ・日立市ボランティアグループ連絡会交流会バザー（福祉プラザ） 11 月
- ・フレンドリーあんず年忘れ会（会瀬交流センター） 12/15

カラーでご覧になりたい方は、下記“フレンドリーあんずホームページ”を参照下さい。
<http://www.net1.iwaw.ne.jp/friendlvanzu/>

編集後記 “あんず”には、毎年キリスト教大学の研修として学生さんが、また国際交流に関心のある方が、日本語教師養成講座を通じたり、市からの紹介などで、入会され活動しております。今号が互いの交流と研修に役立ちますように願っています。